

# 第 2 章

## 課題研究

# 1 研究の概要

## (1) 研究主題

### 今養版キャリアプランニングマトリックスを活用した実践的研究②

～生活単元学習と作業学習を中心に～

## (2) 設定理由

第6次研究の中で、キャリア教育について教職員一人一人がその内容を研修し、その必要性を共通理解したなかで研究に取り組んでおり、今後もその意識が引き続き必要である。その中で、昨年度の課題研究では今養版キャリアプランニングマトリックスをもとに、生活単元学習部会（以下生単部会）では指導段階表を、作業部会では評価様式を作成することができた。そこで今年度は、昨年度からの指導段階表や評価様式の修正を加えながら、授業実践中心に取り組んでいくことを研修部、研究推進委員会と確認している。作成した指導段階表や評価様式を今養版マトリックスに照らし合わせながら、授業を展開し助言等を受けながらPDCAのサイクルに繰り返し取り組んでいくことで、生徒が自己認知を深め自分自身で課題を解決する能力がより身につけられるとともに、職員の生徒理解が深まり3年間を見通した系統立てた指導が可能になること、また、より一層の授業における指導力向上にもつながることが考えられる。

以上のような観点から学校教育の目標を達成し、授業実践を行うことに重点を置き、キャリア教育実践を深めるべく、本主題に設定した。

## (3) 研究の内容と方法

- 研究組織は生単・作業部会とし、部会の教職員全員でマトリックスに基づいたキャリア教育実践教育を進める。
- 具体的には授業実践をしながら生単部会では指導段階表、作業部会では評価様式を見直し、修正を加える。修正したものを使って授業実践し…というサイクルで展開する。いずれの場合でもマトリックスを見ながら取り組む。授業参観をし合ったり、研究に関する話しをする機会を設けたりするなど工夫しながら取り組む。
- 学年部会においても研究に関して情報・意見交換をする時間を設ける。

## (4) 推進日程

| 生単部会                              | 作業部会                             |
|-----------------------------------|----------------------------------|
| 5月<br>研究計画作成                      | 5月<br>研究計画作成                     |
| 1～2学期<br>昨年度作成した指導段階表を使った授業実践、見直し | 1～2学期<br>昨年度作成した評価様式を使った授業実践、見直し |
| 2～3学期<br>見直しをした指導段階表を使った授業実践、公開   | 2～3学期<br>見直しをした評価様式を使った授業実践、公開   |

## 2 生活単元学習部会の研究

### (1) 研究の目的

今年度の第1回全体研修会にて、今年度の指針について、昨年度は指導段階表をまとめ、PDCAサイクルのPを整備することができたこと、今年度はDなどの整備していない部分の整備を行っていくことが確認された。そのため、生活単元学習部会（以下生単部会と略す。）では指導段階表について検証していくことで、今後の授業に生かすことができることを研究で行うこととした。

### (2) 研究の内容と方法

「心とからだの学習」は1、2学年は前期に1回、後期に1回の計2回、3学年は前期に1回のみ設定されている。前期に指導段階表を用いた単元計画や指導案の作成、授業の実施、反省・次回に向けての内容の検討を行い、後期は前期での検討事項を踏まえ、同じく単元計画や指導案の作成、授業の実施、反省・来年へに向けての内容の検討を行っていくこととした。

### (3) 推進計画

- 4月 形態部会（研究の方向性についての話し合い）
- 10月 形態部会（中間確認）・中間発表
- 1月 形態部会（まとめ）

### (4) 研究の実際

第1回全体研修会後、生単部会で具体的にどのように研究を進めていくか検討した。異性間で問題が多く出ていることから、「異性とのかかわり方」について絞って研究を進めていくこと、更に、系統立てた指導ができているかを確認することが必要であることから3学年とも前期の「心とからだの学習」で指導段階表内の「異性とのかかわり方」という内容について触れた授業を行い、その結果を参考に後期の「心とからだの学習」を行うこととなった。その取り組みを通して昨年度に作成した指導段階表を見直していくこととなった。

その後の研究推進委員会にて指導段階表とマトリックスの関連性について検証するよう指針が出された。また、マトリックスの文言を単元計画や指導案に入れるなど、マトリックスを活用していることを明らかにすることになり、その件についても検討していくこととなった。

前期の心とからだの学習では、3学年とも指導段階表をもとに単元計画や指導案を作成し、授業を行った。単元終了後に各学年で指導段階表への追加項目や修正点、マトリックスとの関連性について検討した。その後臨時生単部会を開き、全学年で検討事項について確認を行った。指導段階表について、書かれている内容が「生活単元学習」の学習内容として適切ではないのではないか、というものがいくつか出された。（表1参照）

表1 指導段階表 1 学年一部抜粋

| 1 学年                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                         |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|
| <b>【自分と社会】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己理解①⇒長所、短所など</li> <li>・パーソナルスペース</li> <li>・コミュニケーションスキル①⇒聞く（返事、体を向ける、相手の顔を見る、<u>相づち</u>、<u>評価</u>、最後まで聞く、復唱する）など</li> <li>・人との距離・関わり</li> <li>・大人としての行動と責任⇒高校生になってなど</li> <li>・清潔の保持⇒清潔って？など</li> <li>・身だしなみ周りからどう見られてしまうのかなど</li> </ul> | 「スキル」は生単で教えるべきか？                                                        |
| <b>【健康について】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康とは？⇒健康な状態とは？などを考える</li> <li>・生活習慣病について⇒日本人の三大死因や肥満・糖尿病にも<u>触れる</u></li> <li>・健康の保持増進のために⇒食事・運動・休養などの大切さ（健康管理）</li> </ul>                                                                                                               | 「心とからだ」の指導内容として適切か？<br><br>1 学年で指導すべきか？<br><br>病気・ケガの対応<br><br>運動余暇に触れる |

また、3 学年は後期に「心とからだの学習」が設定されておらず、「社会人としての暮らし方」という単元が設定されている。この単元は「心とからだの学習」と「生活する力を身につけよう」の2つの単元の内容が含まれるものであり、その学年の生徒の実態に合わせて内容を柔軟に盛り込めるようにしている。これについて指導段階表ではどのように扱っていくべきかという疑問が上がってきた。これについては「心とからだの学習」、「生活する力を身につけよう」の内容を含む単元が「社会人としての暮らし方」であることを共通理解すべきであることがわかった。

マトリックスとの関連性については、「心とからだの学習」の指導段階表は、マトリックスを参考につくったものではあるが、「マトリックスの指導観点や指導の柱を盛り込もうとすると、（中略）不具合が出てくるため、あくまでもマトリックスの達成を目指すという観点で話し合い、題材一覧の中にはマトリックスの文言を盛り込まないこととした。（昨年度研究紀要より引用）」ことから、整合性がとれるものではないことを再確認した。更に「マトリックスは指導者側の押さえであるということ」を共通認識できた。（昨年度研究紀要より引用）」ことから、生徒視点での目標が記載されている単元計画や指導案にマトリックスの文言を入れ、生徒の評価の参考にすることは昨年度同様難しいという判断に至った。

その後、どのような方法でマトリックスを活用することができるのか話し合いを行った。その結果、「指導者側のおさえ」であるという共通点から、年間指導計画にマトリックスの観点を盛り込み、前期評価や年度末評価で指導者側の評価として用いて授業実践につなげるのが良いのではないかという提案が出され、各学年で試案としてマトリックスの観点で前期評価と年度末評価を行うこととした。学年で検討した後、全学年で行った結果をもちより確認を行った。マトリックスの観点に合わせて評価を行うと、観点と指導している内容が合わないものがあることや、1 学年ではマトリックスの文言を観点として評価を行うことが概ねできたが、学年があがっていくにつれ、観点の表記が具体的になり、評価が難しいものが増えていくことがわかった。（表2、3、4）

表2 マトリックス1 学年段階（一部抜粋）と評価（試案）

| 指導観点 | 観点の中身（解説）                                                                                                                                            | 指導の柱       | 1 学年段階<br>（学びを通して気づく・知る）                                        | 評価                                                                                                                                                                                                                                      |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|-----------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 心と体  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・元気</li> <li>・体力</li> <li>・健康</li> <li>・食生活</li> <li>・睡眠・休養</li> <li>・規則正しい生活</li> <li>・ストレスコントロール</li> </ul> | 心身の健康      | ●健康でたくましい心と体の必要性に気づかせ、身につけることができる。                              | (前期)<br>・「相手との距離」「自分の発達段階」を知るスライドを取り入れ生徒にわかりやすく指導ができた。<br>・なぜ清潔にすべきか考えさせ、必要性に気付かせることができた。<br>(後期)<br>・前期で行った内容を取り入れ、発問しながら深く考えさせることができた。<br>・健康とはどのような状態のことをいうのか考えさせ、働く上での必要性を気付かせることができた。<br>・養護教諭の講義で、より専門的な言葉を使うことで、体の大切さを感じることができた。 |
|      |                                                                                                                                                      | 基本的生活習慣の確立 | ●生活リズムを整え、望ましい食生活や規則正しい生活ができるよう指導する。                            | (前期)<br>・生徒の年齢に応じた生活習慣を知ることができるスライドを取り入れ、生徒の理解度を高めた。<br>(後期)<br>・スライドの中で例題を出しながらどのように生活するといけないのかを考えさせることができた。<br>・健康な生活をおくるためにどのようなことを行うべきか考えさせた。                                                                                       |
|      |                                                                                                                                                      | 感受性        | ○事象や人物によって様々な感じ方・とらえ方があることを知り、経験や疑似体験を通じてその価値に気づいたり認めたりできる心を育む。 | (前期)<br>・未指導<br>(後期)<br>・様々な表現を見たり、行ったりすることで育むことができた。<br>・劇を通して表現力を育むことができた。                                                                                                                                                            |
|      |                                                                                                                                                      | 表現力        | ○真・善・美として感じたことを言葉・造形・音楽・行動などで表現できる力を育む。                         | (前期)<br>・未指導<br>(後期)<br>・言葉から自分なりに表現を考えることができた。<br>・舞台発表を通して、表現力を高めることができた。                                                                                                                                                             |

表3 マトリックス2 学年段階（一部抜粋）と評価（試案）

| 指導観点 | 観点の中身（解説）                                                                                                                                            | 指導の柱       | 2 年生段階<br>（将来を意識し、自ら学ぶ・行動する）                                    | 評価                                                                                                                                                                                                             |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|-----------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 心と体  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・元気</li> <li>・体力</li> <li>・健康</li> <li>・食生活</li> <li>・睡眠・休養</li> <li>・規則正しい生活</li> <li>・ストレスコントロール</li> </ul> | 心身の健康      | ●自らの心と体の変化をとらえ、心身の健康を維持できるよう指導する。                               | (前期)<br>・「心とからだの学習」では生徒の成長に合わせた授業内容や性教育講話を通して学習の深化を図ることができた。<br>・指導はできたが個人差への対応には課題がある。<br>(後期)<br>・たばこ飲酒では自己の判断、薬物は絶対使ってはいけないことを映像も用いながら指導できた。<br>・心とからだでストレスについて扱ったため、ストレスがたまったときの解消法などを考え、心の健康について指導できたと思う。 |
|      |                                                                                                                                                      | 基本的生活習慣の確立 | ●自立した生活を意識し、望ましい生活習慣を身につけることができるよう指導する。                         | (前期)<br>・前期に当てはまるものがなかった。<br>(後期)<br>・朝食をつくろうという題材で調理を行い、自らが材料を選択し、工夫をしながら取り組ませることができた。<br>・生活する力で朝食について触れ、仕事を意識して食事を考えることができた。                                                                                |
|      |                                                                                                                                                      | 感受性        | ○事象や人物によって様々な感じ方・とらえ方があることを知り、経験や疑似体験を通じてその価値に気づいたり認めたりできる心を育む。 | (前期)<br>・考え方を交流する発表など活動に入れることができた。<br>(後期)<br>・心とからだで生命について扱った際にたくさんの考えがあることに気付かせることができた。                                                                                                                      |
|      |                                                                                                                                                      | 表現力        | ○真・善・美として感じたことを、自身の理想や希望を込めて言葉・造形・音楽・行動などで適切に表現できる力を育む。         | (前期)<br>・生単ではあまり関わりが無いように思う。<br>・生徒が自身の理想や思い、希望を表現できるような場が無い。<br>(後期)<br>・後期でふれていなかったように思う。                                                                                                                    |

表4 マトリックス3 学年段階（一部抜粋）と評価（試案）

| 指導観点 | 観点の中身（解説）                                                      | 指導の柱        | 3 年生段階<br>（将来を見据え、自ら学ぶ・行動する）                            | 評価                                                                                                                                               |
|------|----------------------------------------------------------------|-------------|---------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 心と体  | ・元気<br>・体力<br>・健康<br>・食生活<br>・睡眠・休養<br>・規則正しい生活<br>・ストレスコントロール | 心身の健康       | ●卒業後の生活を見据えて、自ら心と身体<br>の健康が保てるよう、望ましい生活を組み立てる力を育てる。     | （前期）<br>・『見学旅行』では規則正しい生活というところで、『心とからだ』では性教育の内容というところで全般的に当てはまる。<br>・『心とからだ』は性教育が中心だったので、マトリックスとは合わせにくい。                                         |
|      |                                                                | 基本的な生活習慣の確立 |                                                         | （後期）<br>・後期にはあてはまらない。生単以外では HR や行事が近付いたときなど、指導場面に応じて伝えた。                                                                                         |
| 感性   | ・発想力<br>・表現力<br>・感受性                                           | 感受性         | ○事象や人物によって様々な感じ方・とらえ方があることを理解した上で、柔軟に物事を受け入れる心を育む。      | （前期）<br>・内容の解釈が難しい。色々な考え方があろうことを受け止められるようにするということが。                                                                                              |
|      |                                                                | 表現力         | ○卒業後の豊かな生活を目指し、真・善・美として感じたことを、自身の理想や希望を込めて適切に表現できる力を育む。 | （後期）<br>・物事を受け入れる場面は多くなった。相手を尊重したり、相手の意見を参考にするなどの指導をする必要がある。                                                                                     |
|      |                                                                |             |                                                         | （前期）<br>・どのような表記を行えば適切な評価となるかがわからない。<br>・「自身の理想や希望を込めて適切に表現できる力を育む」の箇所については学校際での掲示物に活用できる余地がある。<br>（後期）<br>・将来の夢について、就労先や生活の場所なども考慮してまとめることができた。 |

後期では授業公開や、前期と同様に指導段階表の修正点や追加点などを検討し、マトリックスの観点をういた年度末評価を試案として行った。授業公開では指導内容が2 学年段階として適切であったこと、指導段階表に基づいて計画を行うが、学年・生徒によってねらいが異なるため、学年間での共通理解を図ることが必要だとわかった。

## （5）成果と課題

指導段階表を用いたことによって単元の計画や授業の計画がしやすくなった。また、この指導段階表を用いて今後も授業を行っていくことで、系統的で効果的な指導ができることが期待できることを部会で確認することができた。しかし、今後全て指導段階表のとおり授業を行ってしまうと、指導段階表にしばられてやりづらさが出てくることが予想される。そのため、生徒の実態や学年の状況に応じて内容を選択して行うなど、担当者や学年間で調整しながら使っていく必要がある。

## 2 学年 生活単元学習「心とからだの学習④」授業公開資料

## 1 本時の展開

|        |                                                                                  |       |                                                        |
|--------|----------------------------------------------------------------------------------|-------|--------------------------------------------------------|
| 単元・題材名 | 心とからだの学習④<br>「喫煙・飲酒・薬物について」                                                      | 生 徒   | 2学年 生徒27名                                              |
|        |                                                                                  | 場 所   | 視聴覚室                                                   |
| 日 時    | 平成26年12月11日(木)3・4校時                                                              | 指 導 者 | T1:鈴木貴史 T2:後藤倫弘<br>T3:渡邊雅都 T4:鈴木絢子<br>T5:村瀬はるな T6:高橋詩織 |
| 本時の目標  | ① 体に与える影響を理解することができる。<br>② 将来、健康を維持するために必要なことを理解することができる。<br>③ 薬物の恐ろしさを知ることができる。 |       |                                                        |

| 学習内容          | 学 習 活 動                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 教材・教具                                                    | 指導上の留意点                                           |
|---------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|---------------------------------------------------|
| 【導入】<br>挨拶    | ・家庭科の日直が始まりの挨拶をする。                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                          |                                                   |
| 本時の説明         | ・流れを説明する。                                                                                                                                                                                                                                                                                 | ・パソコン                                                    |                                                   |
| 前回の振り返り       | ・前回やったことの振り返りを行う。                                                                                                                                                                                                                                                                         | ・テレビ<br>・ワークシート                                          | ・数名に質問する。                                         |
| 【展開】<br>喫煙、飲酒 | ・喫煙者の肺と非喫煙者の肺がどれほど違うか画像を見て知る。<br>Q両方の肺を見てどう思いますか。<br>⇒ワークシートに記入する。<br><br>・飲酒を続けた肝臓とキレイな肝臓がどれほど違うか画像を見て知る。<br>Q両方の肝臓を見てどう思いますか。<br>⇒ワークシートに記入する。<br><br>・喫煙時の血管収縮と血液の流れの様子を映像を見て知る。<br>・飲酒をすることで体温が上がる、血液の流れが良くなることを口頭で伝える<br>Q喫煙と飲酒を一緒に行うとどうなってしまうか。<br>⇒ワークシートに記入する。<br><br>・画像、映像を見た上で | ・パソコン<br>・テレビ<br>・ワークシート<br><br>・パソコン<br>・テレビ<br>・ワークシート | ・必要に応じて書けない生徒の支援をT2～T6は行う。(※)<br><br>・※<br><br>・※ |



|      |                    |  |  |
|------|--------------------|--|--|
| あいさつ | ・家庭科の日直が終わりの挨拶をする。 |  |  |
|------|--------------------|--|--|

## 2 生徒の実態（学級経営案より）

- ・意欲的に取り組む生徒が多く、文字の読み書きや簡単な計算、単位の換算などは理解できる。しかし、集中力を持続することは難しい。
- ・日常会話についてはおおむね成立しているが、自分が困っているときに助けを求められない様子や、人の気持ちを考えていない行動、発言が見られる。
- ・生徒全員が知的障害、発達障害があり、IQ は 40～90 位と幅広い。

## 3 題材設定の理由

昨年度作成した指導段階表（2 学年段階）に記載されている内容を取り扱う。【健康について】という分野は 2 年生である程度指導しなければならず、8 月に実施した『心とからだ③』で実施していないものを今回の単元で設定した。

ストレスや喫煙、飲酒、薬物についての理解を深めることや正しい知識を身に付けることは、将来『健康を維持していく』ために必要であり、自分の身を守ることにともつながる。特に喫煙に関しては、本学年で指導対象になった生徒もあり、体に及ぼす影響を理解させる必要がある。自己理解やコミュニケーションは、昨年度も実施しているが、他者からの評価をもとに自己理解を進めてほしい、命の大切さについては、自分の人生、命を大切にするということとはどのようなことなのかを考えてほしい、という思いがある。

そのため本単元は、①ストレス、喫煙、飲酒、薬物が体に与える影響などの健康に関する知識を深める、②命の価値について考えるとともに命の大切さについても考える、③他者評価をもとに、昨年度との自分の変化を理解し自己理解を深める、④グループで話し合うことで、人によって様々な考え方があることを知る、という 4 つで構成する。

## 4 指導計画・内容（概要）

本単元「心とからだの学習④」の目標

- これからの生活に生かすための具体的な方法を考えることができる。
- 健康を維持していくために必要なことを理解することができる。
- 命（生命）について考えることができる。

第 1 回 11 月 28 日 : オリエンテーション

第 2 回 12 月 3 日 : ストレスと解消法

第 3 回 12 月 4 日 : 自己理解①

第 4 回 12 月 5 日 : 自己理解②

第 5 回 12 月 10 日 : 喫煙・飲酒について①、薬物乱用について①

第 6 回 12 月 11 日 : 喫煙・飲酒について②、薬物乱用について②（本時）

第 7 回 12 月 12 日 : 前時の振り返り、命の大切さ①

第 8 回 12 月 17 日 : 命の大切さ②

第 9 回 12 月 19 日 : まとめ

指導段階表との関連

# 5 評価 (A: 大変よい B: おおむねよい C: 努力を要する)

| 評価の観点                                                                                            | 評 価                                 |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------|
| 本時の目標は達成されたか<br>① 体に与える影響を理解することができる。<br>② 将来、健康を維持するために必要なことを理解することができる。<br>③ 薬物の恐ろしさを知ることができる。 | A・・・B・・・C<br>A・・・B・・・C<br>A・・・B・・・C |
| 指導段階表の内容と授業内容が合っていたか。                                                                            | A・・・B・・・C                           |
| 指導段階表の2学年段階として内容が適切だったか。                                                                         | A・・・B・・・C                           |
| 本時の目標設定は適切であったか                                                                                  | A・・・B・・・C                           |
| 導入・展開・整理の流れ、時間配分、教材・教具は適切であったか                                                                   | A・・・B・・・C                           |
| 全体・個別に対する働きかけ（手立て）は適切であったか                                                                       | A・・・B・・・C                           |
| 生徒の学習に取り組む姿は、自ら学ぶものになっていたか                                                                       | A・・・B・・・C                           |
| <その他>                                                                                            |                                     |

心とからだ 指導段階表

H25. 12. 17現在

| 1 学年                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                            | 2 学年                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                         | 3 学年                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                          |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------|
| <div>【自分と社会】</div> <div>・ 自己理解①⇒長所、短所など</div> <div>・ パーソナルスペース</div> <div>・ コミュニケーションスキル①⇒聞く（返事、体を向ける、相手の顔を見る、相づち、話を最後まで聞く、復唱する）など</div> <div>・ 人との距離・関わり</div> <div>・ 大人としての行動と責任⇒高校生になってなど</div> <div>・ 清潔の保持⇒清潔って？など</div> <div>・ 身だしなみ、周りからどう見られてしまうのかなど</div> |                                                                                                                                                                                                                            | <div>【自分と社会】</div> <div>・ 自己理解②⇒他者の評価を受け入れる</div> <div>・ コミュニケーションスキル②⇒伝える（感謝、謝罪、お願い、断り方、伝言、支援を求める）など</div> <div>・ ストレスと解消法</div> |                                                                                                                                                                                                         | <div>【自分と社会】</div> <div>・ 自己理解③⇒社会に出るために</div> <div>・ 他者理解⇒他者の気持ちを尊重しよう</div> <div>・ コミュニケーションスキル③⇒社会に出るために（場を読むなど）</div> <div>・ 社会人としての行動と責任⇒大人としての判断</div>                                                                                                            | <div>敬語、電話対応など</div>                     |
|                                                                                                                                                                                                                                                                    | <div>病気・ケガの対応</div> <div>運動余暇に触れる</div>                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                   | <div>【健康について】</div> <div>・ 喫煙について⇒煙の種類、有害物質、体への影響など</div> <div>・ 飲酒について⇒過度、長期の飲酒の影響 など</div> <div>・ 薬物乱用について⇒種類、脳への作用など</div>                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                          |
|                                                                                                                                                                                                                                                                    | <div>【体の仕組み：性教育】</div> <div>・ 異性とのかかわり方①⇒プライベートゾーン、異性への興味関心、性的欲求のコントロール、異性との距離感など</div> <div>・ 二次性徴⇒思春期の体の変化、男女の体の違い、身体の仕組みなど</div> <div>・ 妊娠について①⇒受精から出産までの流れなど</div> <div>・ 性感染症について①⇒H I V・A I D Sについて、その他の性感染症など</div> | <div>予防、正しい知識</div>                                                                                                               | <div>【体の仕組み：性教育：命の尊さ】</div> <div>・ 異性とのかかわり方②⇒男女交際のルールやマナーなど具体例を出し、行動を選択・決定する。</div> <div>・ 妊娠について②⇒確認、振り返り程度（生命の誕生を確認）</div> <div>・ 人工妊娠中絶⇒避妊方法、心と体への影響など</div> <div>・ 命の大切さ①⇒実際の例を出し、命について考えるなど</div> | <div>一般論を伝える</div> <div>事故などの例</div>                                                                                                                                                                                                                                    |                                          |
|                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                         | <div>【卒業後を見据えて】</div> <div>・ 異性とのかかわり方③⇒大人としてのかかわり方、マナー、将来（結婚）についてなど</div> <div>・ 性被害、性加害⇒性犯罪、性的事故などについて</div> <div>・ 性感染症について②⇒感染の症状、感染した場合など</div> <div>・ 結婚と家族、家庭を持つ⇒どういったことが必要（法律など）なのかなど</div> <div>・ 運動と余暇⇒生徒の実態に応じて</div> <div>・ 命の大切さ②⇒実際の例を出し、命について考えるなど</div> | <div>症状や予防法など</div> <div>戦争・脳死などの例</div> |

※ この指導段階表を目安とし、生徒の実態などに合わせて柔軟に授業を組み立てていく。

本単元で扱う内容